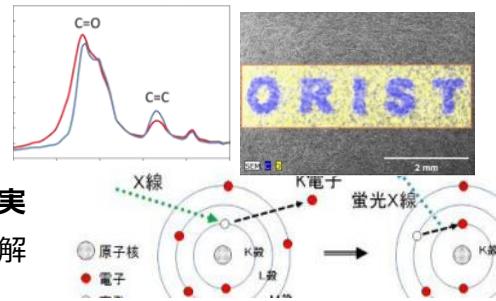


大阪府技術協会セミナー

品質管理・クレーム対策に役立つ分析技術

品質管理は、原料の受け入れや製造、出荷前検査における「ものづくり」の重要な技術です。また、商品クレームが発生した際には、まずは分析により現象を把握することが解決に向けての第1歩となります。

本セミナーでは、品質管理・クレーム対策で重要な「異物分析」を中心に、分析の流れや分析装置の概要などについての講演を行います。その後、大阪産業技術研究所の協力により、代表的な分析装置による身近な材料の実演を通して、実践にすぐに役立つ分析技術をわかりやすく解説いたします。



◆日 時：令和4年 7月22日（金） 13:30～16:30

◆場 所：大阪産業技術研究所 和泉センター（和泉市あゆみ野2-7-1）
(講演)本館2階 研修室（3） → (実演・解説) 実験棟

◆定 員：10名（申し込み状況によっては、
1社での複数参加は調整させていただくことがあります）

◆参加費：無料

◆プログラム：

13:30-14:30 講演 「基礎からわかる異物分析」

大阪産業技術研究所 高分子機能材料研究部 主幹研究員 日置 亜也子氏

14:45-16:30 装置実演・解説

・デジタルマイクロスコープ

試料の色や形状を、大気中で**高倍率（約1,000～2,000倍）**に観察することが可能です。メタルハライドランプにより、**自然光とほぼ同じ見え方**で観察できます。また、凹凸のある試料では、**3次元画像**を得ることも可能です。

・エネルギー分散型蛍光X線分析装置

試料に含まれる元素を調べる分析装置です。試料の**材質の確認**や**有害元素のスクリーニング**に用います。基本的に**非破壊**で、かつ**迅速**に測定することができます。

・低真空走査電子顕微鏡

試料を**高倍率（約2,000～3,000倍）**で観察できる装置です。導電性のない試料に対しても、そのまま観察可能です。また、**観察と同時に元素分析も可能**ですので、異物の材質確認にも有効です。

・イメージング型フーリエ変換赤外分光光度計（FT-IR）

プラスチックやゴム、油脂、塗料などの有機物系の試料の**素材確認**が可能な装置です。試料を**変質させることなく**迅速に測定できます。また、数10μm程度の**微小・微量**な試料の測定も可能です。